



2022年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2022年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社PLANT

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2022年12月19日 配当支払開始予定日 2022年12月20日

有価証券報告書提出予定日 2022年12月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期の業績(2021年9月21日～2022年9月20日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	95,331		1,448	6.2	1,531	7.5	324	71.9
2021年9月期	96,241	0.1	1,543	12.1	1,656	11.4	1,155	10.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	40.59		2.1	3.7	1.5
2021年9月期	143.82		7.6	3.9	1.6

(参考) 持分法投資損益 2022年9月期 百万円 2021年9月期 百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を当事業年度度の期首から適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期	40,292	15,813	39.2	1,981.75
2021年9月期	41,710	15,662	37.6	1,949.54

(参考) 自己資本 2022年9月期 15,813百万円 2021年9月期 15,662百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月期	2,319	1,578	2,322	6,200
2021年9月期	472	836	1,232	7,781

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年9月期		5.00		16.00	21.00	168	14.6	1.1
2022年9月期		5.00		17.00	22.00	175	54.2	1.1
2023年9月期(予想)		5.00		17.00	22.00		17.6	

3. 2023年9月期の業績予想(2022年9月21日～2023年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,000	0.6	300	55.5	350	52.4	450	25.4	56.39
通期	96,000	0.7	1,100	24.1	1,180	23.0	1,000	208.0	125.32

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期	8,090,000 株	2021年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2022年9月期	110,280 株	2021年9月期	56,280 株
期中平均株式数	2022年9月期	7,998,657 株	2021年9月期	8,033,720 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(持分法損益等)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)における我が国の経済は、米国をはじめとする先進諸国による金融緩和の縮小や資源価格の高騰など、世界的景気減速が危惧される中、新型コロナウイルス感染症の影響や緊迫が続くウクライナ情勢、急激な円安による諸物価の上昇など経済活動の先行きは不透明な状況となっております。

小売業におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する予防ワクチン接種が進み、昨年9月、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全面解除、行動制限が段階的に緩和されたことにより、個人消費に回復の兆しがみられました。しかし、原材料価格や光熱費の高騰、人手不足による物流コストの値上げなど業界を取り巻く環境は非常に厳しくなっているほか、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念により、人々の節約志向は一層強くなっており、今後とも予断の許さない状況が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、下記の施策に積極的に取り組んでおります。

1 改装の実施

既存店活性化により客数・売上増を図るため、ワクワク感が感じられる売場を目指し、当事業年度は伊賀店及び瑞穂店の改装を実施いたしました。

2 P B商品開発強化

当社にしかない価値あるP B商品を開発し、目的来店性・粗利率アップを図ります。当事業年度は新たに300アイテム以上の開発をいたしました。

3 R-9 (R=Revolution 人件費9億円削減)

人口減による人手不足・労働単価上昇への対応として機械化等を推進し業務の合理化を図ります。当事業年度はAI自動発注システムの導入をいたしました。

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高は95,331百万円(通期計画達成率99.8%)となりました。利益におきましては、営業利益は1,448百万円(前年同期比6.2%減)、経常利益は1,531百万円(前年同期比7.5%減)、当期純利益は高島店の固定資産残存簿価の一部を減損処理し特別損失991百万円を計上したため、324百万円(前年同期比71.9%減)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しております。当事業年度の売上高については、当該会計基準を適用した後の数値となっているため、前年同期比を記載せず、通期計画達成率を記載しております。

詳細は、「3 財務諸表及び主な注記 (5) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、40,292百万円(前年同期比1,418百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前年同期比1,831百万円減)によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、24,478百万円(前年同期比1,569百万円減)となりました。これは主に、長期借入金の減少(前年同期比1,590百万円減)によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、15,813百万円(前年同期比151百万円増)となりました。これは主に、当期純利益が324百万円となり、剰余金の配当が168百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,581百万円減少し、6,200百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は2,319百万円(前年同期472百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前当期純利益800百万円、減価償却費1,514百万円、減損損失991百万円があった一方、棚卸資産の増加914百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,578百万円(前年同期836百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得1,731百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は2,322百万円(前年同期1,232百万円の使用)となりました。これは、長期借入による返済1,641百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期
自己資本比率(%)	33.7	34.5	37.5	39.2
時価ベースの自己資本比率(%)	14.6	16.2	14.2	12.8
債務償還年数(年)	—	2.0	23.3	3.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	49.6	4.3	26.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

(注2) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2019年9月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

国内外における新型コロナウイルス感染症終息の見込みが依然不透明である中、日本国内の小売業界におきましては、消費者の行動や消費スタイルに変化が見られ、益々多様化する消費者ニーズへの対応が求められております。

消費者の節約志向は依然として根強く、低価格競争の激化、ネット販売や食品の宅配等の事業環境変化、人手不足のなか人材確保にかかる人件費をはじめ、物流コスト等各種経費が上昇し、今後も経営環境は益々厳しさを増すものと思われまます。

このような状況のもと、第42期(2023年9月期)につきましても、引き続き「改装での既存店活性化による客数・売上増」「PB強化による目的来店性・粗利率アップ」「業務の合理化による人件費削減」を重点施策とし、収益構造改革に取り組んでまいります。

以上のことから、2023年9月期の業績見通しといたしましては、売上高96,000百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益1,100百万円(前年同期比24.1%減)、経常利益1,180百万円(前年同期比23.0%減)、当期純利益1,000百万円(前年同期比208.0%増)を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年9月20日)	当事業年度 (2022年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,031	6,200
売掛金	1,719	1,841
リース投資資産	29	30
商品	7,332	8,232
貯蔵品	24	39
その他	596	532
流動資産合計	17,733	16,877
固定資産		
有形固定資産		
建物	24,175	23,795
減価償却累計額	△14,195	△14,559
建物(純額)	9,980	9,236
構築物	3,763	3,619
減価償却累計額	△2,486	△2,609
構築物(純額)	1,276	1,009
機械及び装置	264	324
減価償却累計額	△130	△168
機械及び装置(純額)	133	155
車両運搬具	84	84
減価償却累計額	△65	△68
車両運搬具(純額)	19	16
工具、器具及び備品	1,509	2,407
減価償却累計額	△1,067	△1,259
工具、器具及び備品(純額)	442	1,148
土地	5,327	5,327
リース資産	3,710	3,662
減価償却累計額	△1,629	△1,980
リース資産(純額)	2,080	1,681
建設仮勘定	5	24
有形固定資産合計	19,266	18,600
無形固定資産		
借地権	1,241	1,161
ソフトウェア	142	328
リース資産	49	35
その他	7	7
無形固定資産合計	1,441	1,532
投資その他の資産		
投資有価証券	28	24
リース投資資産	169	138
長期前払費用	79	71
繰延税金資産	495	569
敷金及び保証金	2,473	2,454
その他	23	23
投資その他の資産合計	3,269	3,281
固定資産合計	23,977	23,415
資産合計	41,710	40,292

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年9月20日)	当事業年度 (2022年9月20日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	805	728
買掛金	6,214	6,312
1年内返済予定の長期借入金	673	622
リース債務	512	446
未払金	502	696
未払費用	1,105	1,097
未払法人税等	289	412
賞与引当金	425	463
その他	327	444
流動負債合計	10,856	11,225
固定負債		
長期借入金	8,274	6,683
リース債務	1,547	1,100
退職給付引当金	1,653	1,757
長期未払金	104	65
長期預り敷金保証金	348	331
資産除去債務	3,263	3,314
固定負債合計	15,192	13,253
負債合計	26,048	24,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,709	1,829
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	7,555	7,591
利益剰余金合計	12,663	12,818
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,674	15,830
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12	△17
評価・換算差額等合計	△12	△17
純資産合計	15,662	15,813
負債純資産合計	41,710	40,292

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)	当事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)
売上高		
商品売上高	95,863	94,941
不動産賃貸収入	378	389
売上高合計	96,241	95,331
売上原価		
商品期首棚卸高	7,239	7,332
当期商品仕入高	75,833	75,052
合計	83,072	82,385
商品期末棚卸高	7,332	8,232
商品売上原価	75,740	74,152
不動産賃貸原価	69	68
売上原価合計	75,809	74,221
売上総利益	20,431	21,109
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,958	8,879
賞与引当金繰入額	425	463
退職給付費用	124	149
減価償却費	1,373	1,506
その他	8,006	8,662
販売費及び一般管理費合計	18,887	19,661
営業利益	1,543	1,448
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	3
受取手数料	136	143
助成金収入	20	24
受取保険金	10	15
協賛金収入	56	—
雑収入	26	47
営業外収益合計	260	234
営業外費用		
支払利息	113	94
固定資産除却損	18	20
雑損失	16	36
営業外費用合計	148	151
経常利益	1,656	1,531
特別利益		
債務免除益	105	—
補助金収入	—	260
特別利益合計	105	260
特別損失		
減損損失	46	991
特別損失合計	46	991
税引前当期純利益	1,715	800
法人税、住民税及び事業税	429	550
法人税等調整額	130	△73
法人税等合計	559	476
当期純利益	1,155	324

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,756	3,141	6,537	11,693	△0	14,703	
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の 取崩				△47		47	—		—	
剰余金の配当						△184	△184		△184	
当期純利益						1,155	1,155		1,155	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△47	—	1,018	970	—	970	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,709	3,141	7,555	12,663	△0	15,674	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△10	14,693
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△184
当期純利益		1,155
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1	△1
当期変動額合計	△1	969
当期末残高	△12	15,662

当事業年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,709	3,141	7,555	12,663	△0	15,674	
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の 積立				181		△181	—		—	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△60		60	—		—	
剰余金の配当						△168	△168		△168	
当期純利益						324	324		324	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	120	—	35	156	—	156	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,829	3,141	7,591	12,820	△0	15,830	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△12	15,662
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の 積立		—
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△168
当期純利益		324
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4	△4
当期変動額合計	△4	151
当期末残高	△17	15,813

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)	当事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,715	800
減価償却費	1,381	1,514
長期前払費用償却額	5	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	75	104
減損損失	46	991
補助金収入	—	△260
受取利息及び受取配当金	△8	△3
支払利息	113	94
売上債権の増減額 (△は増加)	△331	△121
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△94	△914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△428	21
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△978	102
債務免除益	△105	—
その他	△237	209
小計	1,128	2,582
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△109	△88
補助金の受取額	—	260
法人税等の支払額	△546	△435
営業活動によるキャッシュ・フロー	472	2,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	△350
定期預金の払戻による収入	2,100	600
有形固定資産の取得による支出	△306	△1,731
無形固定資産の取得による支出	△111	△112
投資有価証券の取得による支出	△0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△352	—
敷金及び保証金の回収による収入	307	21
その他	0	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	836	△1,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△458	△1,641
配当金の支払額	△183	△167
その他	△589	△512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,232	△2,322
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76	△1,581
現金及び現金同等物の期首残高	7,704	7,781
現金及び現金同等物の期末残高	7,781	6,200

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は以下のとおりです。

・ 代理人取引に係る収益認識

消化仕入に係る収益及び店頭における配送取次サービスについて、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客に移転する財又はサービスを支配しておらず、これらを手配するサービスのみを提供しているため、代理人取引であると判断した結果、総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当事業年度の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

この結果、当事業年度の売上高が1,223百万円、売上原価が1,223百万円減少しておりますが、売上総利益、営業利益、経常利益および税引前当期純利益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、財務諸表に与える影響はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,093	29,770	378	96,241

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	65,423	29,518	389	95,331

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)	当事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)
1株当たり純資産額(円)	1,949.54	1,981.75
1株当たり当期純利益(円)	143.82	40.59

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2021年9月20日)	当事業年度末 (2022年9月20日)
純資産の部の合計額(百万円)	15,662	15,813
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	15,662	15,813
期末の普通株式の数(株)	8,033,720	7,979,720

(注) 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)	当事業年度 (自 2021年9月21日 至 2022年9月20日)
当期純利益(百万円)	1,155	324
普通株式に係る当期純利益(百万円)	1,155	324
期中平均株式数(株)	8,033,720	7,998,657

(重要な後発事象)

該当事項はありません。